

【FdData 中間期末：中学歴史：戦後～現在】

【東アジアの情勢】

【問題】(1 学期期末)

中国について、次の各問いに答えなさい。

- (1) 国民政府との内戦に勝利した中国共産党の指導者の名前を漢字で答えなさい。
- (2) (1)の人物を国家主席とする，1949年に成立した国家の正式名称を漢字で答えなさい。

【解答】(1) 毛沢東 (2) 中華人民共和国

【解説】

戦後，共産党と国民党の内戦



共産党の勝利

1949年 **中華人民共和国**

毛沢東 が国家主席

第二次大戦後の中国では共産党と国民党の内戦が始まり，これに勝利をおさめた共産党が，1949年，毛沢東を主席とする中華人民共和国をつくった。敗れた国民党の蔣介石は台湾にのがれた。

[問題](1 学期中間)

中華人民共和国はだれを主席として成立したか。

[解答]毛沢東

[問題](後期期末)

1949年, 毛沢東を主席として成立した国の正式名称を答えなさい。

[解答]中華人民共和国

[問題](1 学期中間)

中華人民共和国が成立したとき, 負けた国民党はどこに移りましたか。

[解答]台湾

[問題](1 学期中間)

朝鮮では1948年に2つの国に分かれた。①北朝鮮, ②南朝鮮はそれぞれ何という国になったか。正式国名で答えよ。

[解答]① 朝鮮民主主義人民共和国 ② 大韓民国

[解説]



朝鮮は、日本の敗北により植民地から解放されたが、北緯 38 度の線を境に、北をソ連に、南をアメリカに占領され、やがて 1948 年には、北に北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)、南に韓国(大韓民国)が^{だいかんみんこく}つくられた。

[問題](後期期末)

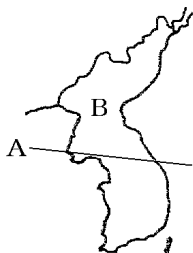
第二次世界大戦後、朝鮮を南北に分断していたのは北緯何度の緯線ですか。

[解答]北緯 38 度線

[問題](1 学期中間)

右の地図を見て、各問いに答えなさい。

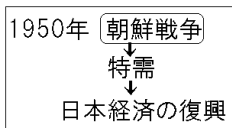
- (1) 分割占領する時に使われた、地図中 A の緯線は何度の緯線ですか。
- (2) 地図中 B の国が武力統一をめざして南下したことをきっかけにして始まった戦争を何といいますか。
- (3) この戦争が起こったのは何年ですか。



[解答](1) 北緯 38 度 (2) 朝鮮戦争 (3) 1950 年

[解説]

1950 年, 北朝鮮が韓国に侵攻して朝鮮戦争が始まった。韓国軍は半島の南端まで追いつめられたが、



アメリカ軍を主力とする国連軍が韓国を助けるため参戦した。国連軍が北朝鮮を追って、中国との国境に近づくと、今度は中国が北朝鮮側に立って参戦し、戦局は 38 度線付近で一進一退をくり返した。(ひどく号令(1950)朝鮮戦争)

朝鮮戦争が起こると、アメリカは大量の軍需物資を日本に発注した。そのため、日本経済は不景気から回復し、復興を早めることができた。

[問題](前期期末)

第二次世界大戦後、日本の経済を活気づかせ、復興を早める役割を果たした戦争は何でしたか。

[解答]朝鮮戦争

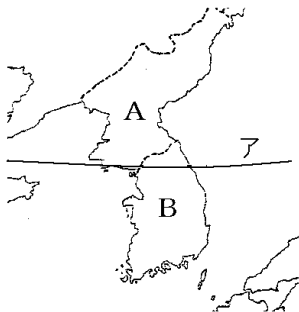
[問題](後期期末)

朝鮮戦争によって、日本の経済がどのようなようになったのか、簡単に説明しなさい。

[解答]軍需物資等の特需により、日本経済は不景気から回復し、復興を早めることができた。

[問題](2学期中間)

次の各問いに答えよ。



- (1) 1948年、朝鮮を南北に分けた地図中の境界線アは、北緯何度線か。
- (2) (1)によって分けられた地図中のA、Bの国名をそれぞれ正式な名前で答えよ。
- (3) 1950年、(2)の2つの国の間ではじまった戦争を何というか。
- (4) (3)の戦争がおこった1950年に、総司令部の指示で日本に設けられ、その後、保安隊、自衛隊と改組・拡大された組織は何か。

[解答](1) 北緯 38 度線 (2)A 朝鮮民主主義人民共和国 B 大韓民国 (3) 朝鮮戦争
(4) 警察予備隊

[問題](3 学期)

朝鮮戦争の時、日本では、警察予備隊が組織されたが、これは次第に強化され、現在、何という組織になっているか。

[解答]自衛隊

◆社会歴史の各ファイルへのリンク

<http://www.fdttext.com/dp/sr5/index.html>

◆FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

http://www.fdttext.com/dp/qanda_k.html

◆製品版(パソコン Word 文書：印刷・編集用) の価格・購入方法

<http://www.fdttext.com/dp/seihin.html>

※ iPhone でリンク先が開かない場合は、
「iBooks」を開いてリンクをタップください。

【Fd 教材開発】 Mail : info2@fdtext.com